



卒業式に向けて

いよいよ公立高校の選抜が迫ってきました。公立高校を受検する生徒は、最後の追い込みとなります。残された短い時間を最大限に生かして、悔いのない受検にしてほしいと思います。15日（月）から17日（水）の入試日程の中で、学力検査、面接、特色検査（一部の学校）が実施されます。集中を切らさないように取り組んでいきましょう。

15日（月）、16日（火）は公立高校を受検しない人は、学校に登校しないで自宅で家庭学習となります。ですから18日（木）までは、学年全体がそろうことはありません。18日から、一気に卒業式への取り組みとなります。中学校の最大の行事は卒業式です。この行事に向かって、一丸となって取り組むこととなります。

コロナ禍で、2年にわたって、正式な卒業式の形態をとることができません。現在、城山中学校の卒業式を知っているのは、3年生だけです。2年生も卒業式を見たことはありませんし、1年生は、今年1年間、なにも中学校の行事を見てきていません。あなた方は、1年生の時に世話になった先輩方が、涙を流しながら「大地讃頌」や「旅立ちの日に」などの城山中学校の3年生が歌い続けてきた合唱を目の当たりに見た、唯一の在校生となるわけです。3年生が、どれほど純粋に卒業式の歌を涙を流しながら歌ってきたかを知っているはずです。3年生の卒業生の歌声を知らない下級生にそれを残すことができたらすてきだなと思います。

音楽の時間で合唱の練習もできず、卒業式の形式もなかなか決まらず、今の時点で確認できていることは、密を避けて在校生は参加しないということです。下級生は、また、卒業式そのものを見ることができません。校長先生が3月8日（月）の予行練習で3年生が合唱をできるなら、後輩に聞かせて生徒だけのお別れができたらと言っていました。後輩に伝統が伝えられるといいですね。ただ、「ありがとう」の言葉だけでなく…。